

第七十五回帝國議會
衆議院

會計検査院法中改正法律案委員會會議錄(速記)第六回

會議

昭和十五年三月十一日(月曜日)午前十一時
開議

出席委員左ノ如シ

委員長 古屋 慶隆君
理事木原 七郎君 理事淺井 茂猪君
福田關次郎君 長井 源君
南雲 正朔君 庄司 一郎君
服部 岩吉君 星 一君
松村 光三君

三月八日委員小田榮君辭任ニ付其ノ補闕ト
シテ三浦虎雄君ヲ議長ニ於テ選定セリ
出席政府委員左ノ如シ

内閣恩給局長 平木 弘君
法制局長官 廣瀬 久忠君
法制局參事官 樋貝 詮三君
司法政務次官 星島 二郎君
司法省民事局長 坂野 千里君
委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
陸軍歩兵中佐 村山 一馬君

會計検査院法中改正法律案(政府提出)
委託又ハ郵便ニ依ル戸籍届出ニ關スル法
律案(政府提出、貴族院送付)

大正十一年法律第五十二號中改正法律案

(統計資料實地調査ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)
裁判所構成法中改正法律案(政府提出)

恩給法中改正法律案(政府提出)

○古屋委員長 是ヨリ開會致シマス、淺井君

○淺井委員 恩給ノコトニ付キマシテ御尋シタイト思ヒマス、地方ノ町村長カラ話ヲ聽イテ見マス、恩給金ノ支拂請求ニ對スル手續ガ非常ニ面倒デアル、デアルカラ何トカ之ヲ簡單ニ支拂ノ出來ル、所謂請求ノ出來ルヤウニシテ貰ヒタイト云フヤウナ、不平ノ聲ガ大分アルヤウデアリマスガ、現在執ラレテ居リマス手續ガ、或ハ將來ニ對シマシテモ、果シテ面倒デアリマスナラバ、之ヲ改善致シマシテ、成ベク簡單ニ支拂ノ出來ルヤウナ方法ヲ御執リニナル御考ハナインデスカ、先ヅ其ノ點ヲ御伺シタイト思ヒマス

○平木政府委員 恩給ノ支拂ニ付テノ御尋デアリマスガ、恩給金ノ支拂ニ付キマシテハ、恩給證書ヲ提示致シマシテ、郵便局ヘ持ツテ參リマスレバ、ソレデ郵便局ノ方デハ支給致スコトニナツテ居リマス、尤モ恩給證書ヲ持ツテ居リマシテモ、死亡其ノ他ノ戸籍ノ事情ニ依リマシテ失權スルコトガ

アリマスカラ、サウ云フコトヲ防ギマス爲ニ、一年置キニ戸籍抄本又ハ戸籍謄本ヲ提出サセマシテ、恩給權ガアルカドウカラ調査致シテ居リマス、之ヲ受給權ノ調査ト申シテ居リマス、此ノ調査ニ依リマシテ、大體サウ云フコトノナイヤウニ防グト云フ方法ヲ執ツテ居リマス、即チ外ノ場合ニ於キマシテハ恩給證書ヲ提示スルダケデ支給致スト云フコトニナツテ居リマスカラ、必シモ非常ニ不便デアルト云フ風ニハ考ヘテ居ナイノデアリマス、尤モ只今申上ゲマシタノハ、内閣恩給局ニ於テ裁定致シマス恩給ノコトニ付テ申上ゲタノデアリマス、其ノ他ノコトニ付キマシテハ、其ノ外ノ方ノコトデアリマスカラ、ドウ云フコトヲヤツテ居リマスカ、一寸分リマセスノデ申上ゲ兼ネマス

○淺井委員 能ク分リマシタ、次ニハ是ハ軍部ノ方モ御見エニナツテ居ルヤウデアリマスガ、實ハ今回ノ事變等カラ見テ見マスト、應召サレタ兵隊デアリマシテ、恩給年限ニ屆キマスル間際ニナリマスルト、多ク其ノ者ガ除隊ヲシテ居ルヤウナ風ガ見受ケラレルノデアリマス、偶、其ノ兵隊ガ病氣トカ或ハ負傷ヲシテ入院ヲシタト云ツタヤウナ關係デ、隊ニ居殘リマシタ者ニ對シテハ、恩給ガ付ク者モアリマスケレドモ、普通ニ健康ナ身體ヲ除隊サレマス、僅カ一箇月、二箇月位ノ月ガ足りナクテ、恩給年限ニ達シナイ者ガ澤山アルヤウニ聞クノデアリマス、是ハ國家ノ所謂經濟的見地ヨリ致シマシテ、成ベク兵隊ニ斯様ニ恩給ガ付カナイヤウナ方法ヲ御執リニナツテ居ルノデアリマセウカ、ソレトモ或ハ軍事上、或ハ作戰上ノ見地カラ致シマシテ、サウ云フ恩給年限間近ニナツタ兵隊ガ居リマシテモ、ソレハ當然除隊ノヤウナ手續ヲ執ツテ居ルモノデアリマセウカ、是等ニ付テ御尋シタイト思ヒマス

○樋貝政府委員 陸軍ノ方カラ見エテ居リマスカラ、説明員ノ方カラ御答ヲシテ戴キマス

○村山説明員 只今ノ御尋ニ御答致シマス、恩給年限ガ間モナク來ルト云フヤウナ者ヲ、特ニ選ツテ還スト云フコトハ絕對ニゴザイマセス、一ニ作戰上ノ要求ニ基キマシテ、人ノ動シ方ヤツテ居リマス關係上、サウ云フコトハ絕對ニナイモノト考ヘマス、事實問題ト致シマシテハ、只今御話ノ如キ、モウ一月モシタナラバ恩給年限ニナル者ガ、召集ヲ解除サレルト云フヤウナ事實ハ、數ノ非常ニ多イ關係モゴザイマシテ、

付託議案
會計検査院法中改正法律案(政府提出)(第六八號)
委託又ハ郵便ニ依ル戸籍届出ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)(第五八號)
大正十一年法律第五十二號中改正法律案(統計資料實地調査ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)(第六一號)
裁判所構成法中改正法律案(政府提出)(第七八號)
恩給法中改正法律案(政府提出)(第八一號)

相當ニ其ノ事實ハアルト思ヒマスガ、ソレヲ故意ニ召集解除ヲスルト云フコトハゴザイマセヌ

○淺井委員 事實ニ於キマシテハ、餘リニ其ノ數ガ澤山アリマスルノデ、或ハ作戰上當然斯様ニセラレテ居ル處置デアルカモ存ジマセスケレドモ、此ノ點ハ故意デハナイト思ヒマスガ、事實ニ於テサウ云フヤウナコトガ多數ニアリマスルト、何モノカ其ノ間ニアリハシナイカト云フ考ヲ、一般應召シテ居リマスル兵隊、若クハ其ノ家族ニ於キマシテハ持タザルヲ得ナクナリマス、是ハ今後ニ於キマシテハ、特ニ應召サレマシテ、第一線ニ起ツタ兵隊ニ對シテノ優遇ノ方法デアリマスルカラ、斯様ナ場合ニハ特ニ御考ヲ戴キタイト思フノデアリマス、次ニ是ハ直接恩給ニハ關係ハアリマセスケレドモ、關聯致シマシテ軍部ノ當局ノ方ニ御尋シテ見タイト思ヒマス、餘程面倒ナ問題デアリマシテ、果シテ實現サレルカドウカト云フコトモ疑ツテ居リマスルガ、實ハ日清日露ノ兩戰役ニ參加致シマシテ、赫々タル武勳ヲ立テテ戰死サレマシタ兵士ノ中ニ、原級ノ儘デ一向昇級ヲシナイ兵隊ガ多數アルノデアリマス、例ヘバ二等卒デ——今ハ二等兵ト申シテ居リマスガ、二等卒デ應召サレマシテ、名譽ノ戰死ヲ致シマシタニモ拘リマセズ、依然トシテ墓標ノ上ニハ二等卒ト云フ肩書ガ付ケラレテ居リマス、或ハ上等兵デ下士適任證マデ貫ツテ歸休シテ居リマシタ者ガ應召サレテ一線ニ立チ、而モ名譽ノ戰死ヲ遂ゲラレタニモ拘リマセズ、上等兵ノ儘デ止マツテ居ルヤウナ兵隊ガ多數アルノデアリマス、今回ノ支那事變ニ當リマシテ、名譽ノ戰死ヲサレ

マシタ方ノ多クノ者ガ、必ズ一級ダケハ昇進ヲシテ居ルノデアリマス、中ニハ自分ノ父ハ二等卒、其ノ子供或ハ孫ト云フヤウナ者ガ應召シテ出マス、戰死シタ者ニハ必ズ一級ヲ昇進サレマシテ、墓標ニ現ハレテ居リマスモノニ、餘リニモ親子トノ間ノ懸隔ガアルト云フコトデ、日清日露兩戰役ニ於テ名譽ノ戰死ヲサレマシタ遺家族ノ家ガ——不平デハアリマセヌガ、現在ノ支那事變ニ對シマシテノ取扱ノ方法ト、日清日露兩戰役ニ於キマシタ時ノ扱ヒ方トガ、サウ云フヤウニ稍、今日トハ違ツテ居ルデハナカラウカト云フヤウナ考ヲ、多數ニ持ツテ居ルヤウデアリマスカラ、是等ニ對シマシテ、昇級ガ出來ナケレバ、或ハ適當ナ方法ニ依ツテ何トカ優遇ノ方法ハナカラウカ、同ジヤウニ國家ノ爲ニ名譽ノ戰死ヲ遂ゲラレマシタ兵士ニ對シテ——差別ハシテ居ナイデセウガ、其ノ時ノ現況ト現在ノ狀態ト取扱ノ方法ガ違ツテ居ルトハ存ジマスケレドモ、何トカ之ニ對スル優遇ノ方法、或ハ昇級ノ方法ガ執レナイモノデアリマセウカ、此ノ點ヲ御尋シタイト思ヒマス

○村山説明員 只今ノ御尋ハ、豫テ私共承ツテ居ル所デアリマシテ、洵ニオ氣ノ毒ナ人モ多々アルヤウデアリマス、最近ノ戰死者或ハ傷痍軍人其ノ他ノ色々ナ恩典事項ハ、從來ト異リマシテ、劃期的ナ施設ガ出來マシテ、軍部ト云ハズ、地方ト云ハズ、非常ナ力ヲ以テ之ニ協力ヲ願ツテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、日清日露ノ戰役當時ト、總テノ點ニ於テ餘程違フコトハ事實デゴザイマス、例ヘバ戰死者ノ靖國神社合祀ノ如キモ、日露戰爭アタリデハ、單ニオ前ノ息子ハ今度合祀ヲサレルカラ、參拜スルナラ

バ適宜ニ參拜スルヤウニト云フヤウナ端書ガ一本、陸軍カラ出タト云フヤウナ狀態デアツタニ比ベマシテ、今日ニ至リマシテハ、各神樣ノ柱一ツニ對シテ遺族ヲ二名ヅツ招待ヲ致シマシテ、私共カラ申シマスノハヲカシイヤウデゴザイマスガ、至ラザルナイ接待ヲシテ居ルト云フ自信ヲ以テヤツテ居ルノデゴザイマス、其ノ一事ニ於キマシテモ、非常ナ差ガアルノデアリマス、只今ノ進級ノ御話モ、當時ノ色々ナ規則ノ關係、又部隊ノ狀態ニ依リマシテ、サウ云フ漏レタ者モ確ニアルト思ヒマス、是ハ私共直接ノ關係者デゴザイマセヌノデ、ハツキリ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、最近斯ウ云フ例ガゴザイマシタ、是ハ某少尉ノ遺族デゴザイマスガ、從軍記章ヲ戴イタト云フ證據ガゴザイマス、是ハ氏名ノ上ノ官等ガ中尉トナツテ居ルノデアリマス、外ノ總テノモノハ少尉トシテ、勿論扶助料モ少尉トシテ貰ツテ居ル、是ハ果シテドチラガ正シイノカ、若シ是ガ中尉ニデモナツテ居レバ、遺族トシテハ更ニ適ツテデモ、中尉ノ扶助料ヲ戴ケルノデハナカラウカト云フヤウナ所マデ考ヘテ居ツタラシイノデアリマス、ソレヲ當時ノ書類ヲ出シテ能ク調べテ見マスト、或ル時期マデ——其ノ時期ガドウ云フ時期カハツキリ分リマセヌガ、奉天會戰デゴザイマスガ、其ノ時期マデ參加シテ死ンダ者ハ進級シ、其ノ後ニ戰死シタ者ハ進級シナイ——ハツキリサウカドウカ分リマセヌガ、サウ云フ風ニ或ル時期デ差別ガアツタヤウデアリマス、隨テサウ云フノハ非常ニ氣ノ毒ダト云フノデ、進級ヲスル代リニ敘位ヲサレタト云フヤウナ例ガアツタヤウニ、記錄ニナツテ居ルノデアリマス、是ハ將校ノ例デゴザイマ

スガ、下士官、兵ニ於キマシテモ、色々ナ狀態デ進級ヲシナカツタト云フ者ハ、只今御話ノアツタヤウニ思ツテ居ルノデゴザイマスガ、然ラバ之ヲ今日如何ニスルカト云フコトニ付キマシテハ、モウ死ンダ者ヲ後カラ進級サスコトハ出來ナイノデゴザイマシテ、是ハ危篤ノ狀態——假ニ事實呼吸ヲ引取ツテ居リマシテモ、危篤ノ狀態デ進級サセルト云フヤウナ從來カラノ慣例ニナツテ居リマス、之ヲ今日更ニ進級サセテ、ソレニ對スル色々ナ恩典ヲ與ヘルト云フヤウナコトハ、不可能ト私ハ考ヘテ居リマス、是ハ扶助料バカリデゴザイマセヌデ、當時ノ行賞トカ其ノ他ノ色々ナ恩典上カラ申シマシテモ、同ジダト私ハ考ヘテ居リマス、之ヲ要シマスノニ、今日ハソレニ對シテ週ツテ更ニ恩典ヲ考ヘルト云フコトハ、一寸不可能ノヤウニ思ツテ居リマス、洵ニオ氣ノ毒ノヤウニハ思ヒマスガ、サウ云フ御答シカ出來ナイノデアリマス

○淺井委員 相手ハ死ンデ居リマスカラ、是ハ中々容易ナ問題デナイト思ヒマスガ、中ニ御説明ノヤウニ、級ハ上ゲズニ敘位サレタト云フヤウナ實例ガ、將校ノ方ニアツタト申サレマスガ、兵隊ノ中ニモ同ジヤウニ、極端ナノヲ調べテ見マスト、二等卒デ勳八等功七級ヲ貰ツテ居リマス、是ダケ赫々タル戰功ヲ立テテ置キナガラ二等卒デ、是ハ歸休サレテ居ツタト思ヒマスガ、又召集ヲ受ケマシテ名譽ノ戰死ヲシテ、兵隊ト致シマシテハ殆ド最高ノ敘勳ヲ受ケテ居ルノデアリマス、ソレガ依然トシテ二等卒ニ留ツテ居ルコトハ、是ハ餘リニ不遇ナ地位ニ置イタモノデハナカラウカ、後カラ吾々が考ヘマシモ、勿論差別的ノ待遇デハナカ

ツタデセウ、或ハ其ノ當時ノ調査漏レ、其ノ他ニ依ツテ斯様ナ状態ニ置カレタコトトハ思ヒマスケレドモ、其ノ優遇ノ仕方ガ唯被位ト云フ點ノミニ依ツテ決定ヲシテ居ル、而モ今日ニ於キマシテハ、戦死致シマスレバ必ズ一級ヲ昇進シテ居ル、此ノ現在ノ實情ト引較ベマシテ——是ハ死シテ居ル者デアリマスカラ、其ノ人ノ戦功等ノ調査ガ出來ナイト云フヤウナコトガ原因ニナリマシテ、昇級モ出來ナイデセウガ、斯ウ云フヤウニ、中ニハハツキリ、敍勳サレテ居リマス點カラ見マシテモ、相當ノ戦功ガアツタ者デアルト云フヤウナコトガ分リマシタナラバ、戦功ノアツタコトノ明瞭ナ兵隊ニ對シマシテノ昇級等ニ付キマシテハ、是ハ絶對的ノモノデハナカラウト私ハ思ヒマス、或ハ法律ノ改正等ニ依リマシテ、サウ云フモノガ救済出來ル途ガアルナラバ、何トカ法律ノ改正等ニ依リマシテ救済ノ途ヲ開イテ戴キタイ、現行法デハ絶對ニ出來ナイコトハ能ク存ジテ居リマスガ、將來救済ノ途ガ開キ得ラレルナラバ、開イテ戴キタイト云フ御願デアリマス、ソレニ關聯致シマシテ、戦死シタ者ニ對シマシテハ已ムヲ得ナイ、一切斷念シナケレバナラスト云フコトデアリマスレバ斷念シマスガ、日清日露ノ兩戰役ニ參加ヲ致シマシテ、現在生存シテ居ル方が多數アルノデアリマス、デアリマスカラ其ノ現存シテ居ル人々ニ對シマシテモ、何カ優遇ノ方法ヲ考ヘテ戴クコトハ出來ナカラウカ、是等ノ勇士ノ中ニハ年ニ一回靖國神社、或ハ明治神宮、或ハ伊勢ノ大廟等ニ參拜ヲシタイト云フヤウナ者モアリマスガ、家庭ノ事情等ニ依リマシテ、旅費ガナクテ其ノ目的ノ達成モ出來ナイヤウナ人モアル

ヤウデアリマスカラ、セメテ此ノ生存シテ居ル人々ニ對シマシテ、年ニ一回或ハ二年ニ一回デモ結構デアリマス、或ハ人員等ヲ限定シテモ結構デアリマスカラ、是等ノ人々ノ優遇方法トシテ、特別ニ鐵道ノ乘車券、或ハ割引券ヲ與ヘルトカ、何トカ御考慮ヲ戴ク譯ニ行カナイカドウカ、此ノ點ニ付キマシテ軍部ノ御意見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

等ニ付テハ、現行法デハ如何トモスルコトガ出來ナイトハ存ジマスルガ、是等ノ名譽アル戦死者ニ對シマシテ、現在ノ事變ニ於ケル戦死者トノ間ニ、取扱ガ餘リニモ懸隔ノアルコトヲ國民ノ前ニ見セ付ケマスルコトハ、思想的ニモ私ハ如何ト考ヘマスノデ、將來適當ナ方法ニ於テ優遇ノ途ヲ御考慮ヒタイト、切ニ御願スル次第デアリマス、軍部ノ當局ニ於ケレマシテモ、此ノ點ニ付テハ篤ト私ノ言ハントスル所ハ御諒承下サツテ居ルコトト思ヒマスルガ、是ガ爲ニ其ノ遺家族ガ不平ヲ持ツテドウスウト云フノデハアリマセヌ、決シテ不平ヲ抱イテ居ルノデハアリマセヌガ、吾々國民トシテ斯様ナ遺家族ヲ眺メマシタ時ニ、如何ニモ今マデノ方法トシテ、餘リニ多クノ懸隔ガアルコトハ如何ト考ヘルヤウナ次第デアリマスルカラ、若シ法ノ改正等ニ依ツテ、何カノ形ニ依ツテ優遇ノ途ガ開ケルト云フナレバ、サウ云フ方法ニ善處セラレントヲ、私ハ切ニ御願スル次第デアリマス、其ノ他ノコトニ付テハ、私ハ恩給ニ關スル質問ハナイノデアリマス

中ニ共同生活シテ居リマスカラ、何トナシニ内面的ニハ色々ノコトヲ想像セザルヲ得ナクナツテ參リマス、段々實際ニ就テ聽イテ見マス、假令同ジ棟ノ中ニ生活シテ居リマシテモ、決シテ其ノ間情實トカ色々ナコトハアルモノデハナイ、檢察當局ノ方ハ儼然トシテソレニ邁進スル、裁判所ハ裁判所トシテヤツテ行クノダ、此ノ間檢察事判事ノ間ニ意思ヲ通ジテ、ドウスウト云フコトハアルベキモノデナイト云フコトヲ、ハツキリ聽クニハ聽キマス、ケレドモソレ程ハツキリ分レテ居ルナラバ、ナゼ同居サシタノデアラウカ、ソレ程ハツキリ分レテ居ルモノナラバ、全然建築物ヲ分離シテ、別居スルコトハ出來ナカラウカト考ヘテ居リマス、其ノ建築物ヲ全然分ケルコトハ出來ナイデセウカ、先ヅ此ノ點ヲ御尋致シタイト思ヒマス

○村山説明員 昭和五年デゴザイマシタ

カ、兵役義務者癈兵待遇審議會ト云フモノガ出來マシテ、其ノ答申事項トシテ、只今御話ノ傷癈軍人デゴザイマストカ、殊勳者デゴザイマストカ、サウ云フ者ニ對シテ優遇ヲシロト云フ決議ガゴザイマシタ、是ハ色々ノ項ニ分レテ居リマスガ、爾來今日ニ至リマスマデ、其ノ答申事項ニ付テ銳意實現ヲ期シテ參ツテ居リマス、大體ニ於テソレハ出來マシテ、最近尙ホ問題ニ殘ツテ居リマスノハ、只今御話ノ殊勳者ニ對シテ、鐵道ノ割引ヲ與ヘルト云フヤウナ問題ガ若干アルヤウデゴザイマス、大體ニ於テ只今申シマシタ答申事項ノ要項ハ、實現サレテ居ルヤウナ實情デゴザイマスガ、尙ホ私共トシテハ精神的ニシツカリ優遇スルコトニ付テ色々ナ方法ヲ考ヘテ、實現ヲ期シテ居ル次第デゴザイマス、例ヘバ現ニ東京デ行ハレマス觀兵式トカ、或ハ行幸ト云フ場合ニハ、傷癈軍人或ハ殊勳者、サウ云フ者ニ特別ノ席ヲ設ケテ、其ノ陪觀ヲ許サレルヤウ、十分御世話ヲシテ居ル積リデゴザイマス、其ノ他色々精神的ノ優遇ニ付テ、尙ホ引續キ考慮ヲ致ス考デ居リマス

○古屋委員長 ソレデハ裁判所構成法關係ニ移リマス——淺井君

○淺井委員 御趣旨ハ能ク諒承致シマシ

タ、初ニ申上ゲマシタ戦死シタ兵士ノ優遇等ニ付テハ、現行法デハ如何トモスルコトガ出來ナイトハ存ジマスルガ、是等ノ名譽アル戦死者ニ對シマシテ、現在ノ事變ニ於ケル戦死者トノ間ニ、取扱ガ餘リニモ懸隔ノアルコトヲ國民ノ前ニ見セ付ケマスルコトハ、思想的ニモ私ハ如何ト考ヘマスノデ、將來適當ナ方法ニ於テ優遇ノ途ヲ御考慮ヒタイト、切ニ御願スル次第デアリマス、軍部ノ當局ニ於ケレマシテモ、此ノ點ニ付テハ篤ト私ノ言ハントスル所ハ御諒承下サツテ居ルコトト思ヒマスルガ、是ガ爲ニ其ノ遺家族ガ不平ヲ持ツテドウスウト云フノデハアリマセヌ、決シテ不平ヲ抱イテ居ルノデハアリマセヌガ、吾々國民トシテ斯様ナ遺家族ヲ眺メマシタ時ニ、如何ニモ今マデノ方法トシテ、餘リニ多クノ懸隔ガアルコトハ如何ト考ヘルヤウナ次第デアリマスルカラ、若シ法ノ改正等ニ依ツテ、何カノ形ニ依ツテ優遇ノ途ガ開ケルト云フナレバ、サウ云フ方法ニ善處セラレントヲ、私ハ切ニ御願スル次第デアリマス、其ノ他ノコトニ付テハ、私ハ恩給ニ關スル質問ハナイノデアリマス

○古屋委員長 他ニ恩給ノコトニ付テ御質問ハアリマセヌカ——ナイヤウデスネ

○古屋委員長 ソレデハ裁判所構成法關係

ニ移リマス——淺井君

○淺井委員 裁判所構成法ノ改正ニ關聯致

シマシテ、簡單ニ御尋シタイト思フノデアリマス、現在裁判所ノ建築物ト檢察局ノ建築物トガ、何レモ同一ノ屋內ニ置カレテ居ルノデアリマシテ、外部カラ之ヲ眺メテ見マス、獨立ハ雙方トモ致シテ居ルコトハ、ハツキリシテ居リマスカレドモ、同ジ棟ノ

○坂野政府委員 御尋ノ點デゴザイマス

ガ、大體建築物ハ出來ルダケ分離シタイ、今御尋ノヤウニ、檢察局ト裁判所トハ職務上全然分レテ居ル、ソレニ應ズルヤウニ建築物モ分離シテ行キタイ、斯ウ云フ者ハ司法當局トシテモ持ツテ居リマス、現在横濱ノ裁判所ハ、場所ハ接近シテ居リマスガ、建物ハ全然裁判所ト檢察局ト分離シテ居リマス、將來モ豫算ノ許シマスル範圍ニ於テ、サウ云フ建築ヲシテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○淺井委員 サウ云フヤウニ建物ガ二ツニ

ナル御方針デアリマスカラバ、洵ニ結構デアリマス、次ニ是ハ一寸重大問題カモ分リマセヌガ、現在ノ警察權ヲ全然地方長官カラ分離致シマシテ、檢察局ニ直屬スル方法ヲ御執リニナル御考ハ、今マデ御持チニナツテ居ナカツ

タカ、又將來ニ於テサウ云フ御考ハナイカ、其ノ點ヲ御尋シタイト思ヒマス、現在ハ稍、其ノ弊害ガナクナツタトハ申シマスルケレドモ先日モ沖繩縣ノ知事ノ問題デ、色々此處デ論議サレテ居リマシタガ、斯様ニ一地方長官ガ警察權ヲ持ツテ居リマスル爲ニ、時ニハ暴力團ト結托致シマシテ警察ヲ利用スル、或ハ警察權ノアルガ爲ニ良民ヲ壓迫スル實例ハ、地方ニ於キマシテモ幾多ノ事例ヲ持ツテ居ルノデアリマス、現ニ私共ノ縣ニ於キマシテモ、警察部長ト暴力團トガ結托ヲ致シマシテ、新聞記者團ニ極端ニ壓迫ヲ加ヘタコトガアツタ、時ニハ暴力ヲ以テ、縣廳内デ暴力團ガ「ピストル」ヲ新聞記者ニ擬シマシテ、色々脅迫ヲ致シマシタ、其ノ時ニ警察部長ニ面會ヲ致シマシテ、暴力團ノ取締ヲナゼシナイカト追及シマスルト、何モ返答致シマセズシテ其ノ儘デアツタ、縣廳内デ白晝「ピストル」ヲ新聞記者ニ擬シテ、暴力行爲ヲシテ居ルニ拘ラズ、警察部長ハソレヲ取上ゲナカッタノデアリマス、私モ其ノ被害ヲ受ケマシタ一人デアリマス、斯様ニ警察力ヲ地方長官ガ持ツテ居ルコトニ於キマシテ、時ニハ之ヲ兇器ノヤウニ使フ場合ガ往々ニアルノデアリマス、或ハ是ハ行政的ニハ非常ニ善イ場合モアリマセウガ、過去ノ選舉違反ノ事犯等カラ考ヘテ見マシテモ、政黨華カナル時代ハ、一方ノ政黨ニ加担ヲ致シマシテ、警察權ガ濫用サレタコトモ事實デアリマス、デアリマスカラ、司法權ノ獨立ト云フモノヨリ以上ニ強化シ、所謂檢察陣營ヲ強化スルト云フ點カラ考ヘテ見マス、現在ノ地方警察權ト云フモノハ、ドウシテモ之ヲ地方長官カラ分離致シマシテ、檢察當局ト一ツニシテシマフ、

即チ検査局ニ直屬致シマシテ、地方長官カラ分離セルコトガ、私ハ有ユル點ニ於キマシテ合理的デハナカラウカ、是ガ眞ニ保安或ハ犯罪ノ檢舉其ノ他ノ點ニ付キマシテ、警察機能ヲ完全ニ發揮スルモノデハナカラウカト考ヘルノデアリマス、或ハ現在マデノ實情カラ考ヘテ見マス、地方長官カラ警察權ヲ全然除イテシマフコトハ、行政的ニ面白クナイト云フ見解ガ今日マデアツタノデアリマスルケレドモ、六大都市ノ市長ハ警察權ナシニ、完全ニ行政的ノ事務ヲ執ツテ居ルノデアリマス、警察權ガアレバ好都合カモ分リマセウガ、其ノ場合ニハ動トモ致シマスルト感情ニ走ルコトモアリマシテ、往々ニシテ其ノ警察權ヲ濫用スルコトニナリ、或ハ一般良民ニ對シマシテ、特ニ壓迫的ノ行動ヲ執ルヤウナ間違ツタ知事ガ偶ニ現ハレテ參ルノデアリマス、デアリマスカラ、或ハ直チニ斯様ナ方法ハ執レナイト云フ御所見カモ分リマセウガ、何カ是等ノ點ニ付キマシテ、根本的ノ御考ヲ御持チデアリマセウカ、此ノ點ニ付テ御尋シタイノデアリマス

○坂野政府委員 只今ノ御尋ハ、一政府委員トシテ御答スルノニハ、少シク大キナ問題ナノデアリマス、確タルコトハ申上ゲラレマセウガ、私ガ色々聽イテ居リマス所デハ、此ノ問題ハ非常ニ歴史モ古ク、隨分司法省デモ色々研究ヲ致シタ譯デアリマスガ、司法警察ノ問題ノミナラズ、行政警察トノ關係ガ、非常ニ色々點ニ錯綜シタ問題ガアリマシテ、十分ハ研究ヲ遂ゲナケレバナラヌト云フコトデ、全然此ノ研究ハ拾デテ居ル譯デハナイノデアリマスガ、色々ノ方面デ未ダニ研究ヲシテ居ルヤウナ次第デア

リマス、ソレガドウ云フ見方ニナツテ居ルカト云フコトハ、一寸私ハ主管關係ガ違ヒマスノデ能ク分リマセウ、サウ云フ狀態デ、色々方面カラ慎重ニ研究シテ居ルト云フコトダケヲ申上ゲテ置キマス

○福田委員 一寸今ノニ關聯シテ御許ヲ願ヒマス

○古屋委員長 宜シウゴザイマス——福田君

○福田委員 只今地方警察官ニ關スル質問ガアリマシタガ、一寸關聯シテ簡單ニ質問シテ置キタイノデアリマス、司法省デハ數年前カラサウ云フ方面ニ付テ、或ハ其ノ他ノ立法ニ付キマシテ、相當進歩シタコトニ付テ研究シテ居ルト云フヤウナ御答ガ、何回モアツタノデアリマスガ、事實ソレガ少シモ實現シナイノデアリマス、ソレガ爲ニ同僚議員カラモ、檢察廳ノ獨立ナドニ關シマスル決議其ノ外ガ相當出テ居ルノデアリマスガ、毎年調査々々其ノ儘過ギマスルコトハ、大變遺憾ナコトダト思フノデアリマス、私共モ機會アル毎ニサウ云フ人權蹂躪ノ實際ヲ申上ゲマスコトハ、洵ニ遺憾千萬デアリマス、一體御調査ナサルノデアリマス、サウ云フ方面ニ多少革新政策ノ意味カラ言ツテモ、何トカ此ノ際速ニ事ヲ御執リニナル御覺悟ハナイノデアリマス、毎年サウ云フヤウニ調査々々御辯明ニナツテ居ルノデハ困ルノデアリマス、其ノ邊ヲ御尋シマス

○星島政府委員 後カラ來マシテ何モ能ク詳シイコトヲ伺ツテ居リマセウケレドモ、最後ノ御言葉カラ察シマス、目下非常ナ大掛リノ調査會デ決メントシツツアル事ト思ヒマス、此ノ議會中ニ成案ヲ得タイト云

フノデ、會期中ニモ拘ラズ、度々會合シテヤツテ居リマスルケレドモ、モウ一二點ノ所デ結論ヲ見出セナイデ居ルノデアリマスガ、唯徒ニ延スノデナクシテ、少クトモ次期ノ議會ニハ必ず提案サレルコトト、私ハ深く信ジテ居ルノデアリマス

○古屋委員長 他ニ御質問ハゴザイマセウカ——福田君

○福田委員 私ハ過日法制局長官ノ御答ヲ御願致シタ部分ト、他ノ政府委員ノ方ニ御願ヲ致シマシタ部分トノ質問中、他ノ政府委員ヨリハ御答辯ガゴザイマシタ、併シ根本ニ關シマスコトデ、法制局長官ノ御答辯ヲ願ツテ置キタイ、其ノヒトヲ御傳ヘテ願ヒタイト申上ゲテ居ツタノデアリマシテ、長官ハ定メテ御承知アラウト思ヒマスカラ、私ノ質問ニ對シマスル長官トシテノ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○廣瀨政府委員 此ノ前ノ委員會ニ出席ヲ致シマセズ、洵ニ失禮ヲ致シマシタ、福田サンノ御質問ハ、當時政府委員ヨリモ聽キマシタシ、又速記ニ付キマシテ拜見ヲ致シマシテ、御話ノ會計検査ノ充實、會計検査院法ノ改正等ニ付キマシテ、福田サンノ深い御研究ノ結果ヲ拜聽致シマシテ、是等ノ事項ニ付キマシテハ、非常ニ事ガ重大ナモノガ多イヤウニ存ジマス、特ニ御意見ハ拜聽シテ將來ノ爲ニ參考ニ資シタイト思ツテ居リマス、ソコデ特ニ最後ノ御質問ニ付キマシテ、私ヨリ答辯スルヤウニト云フ御希望デアリマス、私カラ申上ゲマス、最後ノ問題ト私ガ申上ゲマシタノハ、日支事件費ヲ特別會計法デ一會計年度トシテ居ルノハ、憲法ニ違反セズヤト云フ御質問ノヤウニ存ジマス、此ノコトニ付キマシテ

ハ、是ハ既ニ御承知ノ通り戦争又ハ事變ト云フモノニ要スル經費ニ付テハ、日清戦争ノ時モ、日露戦争ノ時モ、又日獨戦争ノ際ニモ、事件ノ終了スルマデヲ以テ一會計年度ト致シテ居ル前例ガアルノハ、御承知ノ通りデアリマス、此ノ前例ハ皆憲法上認めラレタ所デアルト、私共モ解釋致シテ居リマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、此ノ前例カラ見マシテ、私共ハ今回ノ此ノ日支事件費ノ特別會計法ハ違憲デナイ、斯ウ云フエ合ニ信ジテ居ル譯デアリマス、ソコデ尙ホ福田サシノ根本的ノ御意見トシテ、色々御質疑、御意見ガアリマシテ、憲法ノ歳出、歳入ト云フ文字カラ見テ色々御質問ガアリマスルガ、私ハ憲法ノ歳出、歳入ト云フハ、必ズシモ常ニ一箇年ノ收入ト云フエ合ニ考ヘルベキモノデハナイノデ、年々入ツテ來ル國ノ收入、年々拂出ス國ノ支出ト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、會計年度トシテモ必ズシモ常ニ一箇年デナケレバナラスト云フヤウニハ、吾々ハ解釋致シテ居ラスノデアリマス、唯會計法ハ、普通ノ場合ニ於ケル一箇年ノ四月一日カラ三月三十一日マデト云フノヲ採ツテ居リマスガ、憲法ハ必ズ此ノ一箇年ノ十二箇月ノ豫算デナケレバナラスト云フ主義ヲ採ツテ居ルモノトハ吾々ハ解サナイノデアリマシテ、是ハヤハリ臨時事件ノヤウナ場合ニ於テハ、一箇年ヲ超ユル會計年度ガ認めラレルノガ憲法ノ精神デアルト、私共ハ解釋致シテ居ル譯デアリマス、サウ云フ譯デアリマスルシ、既ニ前例モ斯ノ如クデアリマスノデ、是ハヤハリ違憲デハナイト云フエ合ニ考ヘテ居リマス、以上ヲ以テマシテ私ノ答辯ト致シテ置キマス

○福田委員 只今政府委員ノ御答、一應御苦衷ノ程ハ御察シ申上ゲマス、只今ノ違憲ノ問題デアリマスガ、殊ニ又歳出入ト云フ憲法六十四條ノ御解釋ガ、必ズシモ一年ノコトヲ指シタノデハナイ、又日支事變費ヲ一會計年度ニスルコトハ、違憲デハナイト思ウテ居ルト仰セニナリマスガ、一體憲法ニ違反デナイト云フコトデアリマスルナラバ、憲法ニ歳出入ノ根本ガ規定サレテアリマス、又會計法ハ之ニ基準致シマシテ、年度ノ歳出入ヲ規定シテ居ルノデアリマス、然ラバ違憲デナイト云フ御説デアリマスルガ、唯ナイト思ツテ居ルト云フダケデ、此ノ國家ノ憲法ノ解釋ノ基準ヲ曖昧ニ附シテ置クコトハ、私共ト致シマシテハ出來得ナイシ、殊ニ法制局ハサウ云フコトニ付キマシテハ、日本ノ國民ノ向ウベキ基準ヲ御示シニナル所デアリマスカラ、私ハ之ヲ申上ゲルノデアリマス、實際ヲ申上ゲマスナラバ、是ハ大藏大臣ノ所管スベキモノデハアリマスガ、法制局ハ内閣ニ所屬サレマシテ、法制全體ニ關スルコトヲ御變理ニ相成ル所デアリマスカラ、大藏大臣ヨリモ法制局ニ於テ基準ヲ一ツ立テテ貫ヒタイ、又御立デニナルベキモノデアルト考ヘマスカラ、申上ゲルノデアリマス、私ノ申上ゲタノハ斯ウ云フ例デアリマス、アリマスケレドモ、日清、日露ノ戰役ニサウ云フコトガアツタト云フコトデアリマセウガ、ソレハ違憲デアルト、斯ウ申上ゲルノデアリマス、會計年度ノ毎年帝國議會ニ提出スベシト云フノハ、一年デハナイト云フコトヲ、過般ノ政府委員ノ方モ仰セニナリマシタケレドモ、然ラバ會計法ノ年度ハ何年デアルト云フコトデアリマス、ソレハ一年デアルト云フコトデアリマス、

何ノ爲ニ然ラバ帝國議會ヲ毎年召集セラレルノデアルカ、是ハ結局年々ノ豫算ノ必要ニ應ジテ、ソレヲ中心トシテ、帝國議會ヲ毎年御召集ニナルノデアリマス、是ハヤハリ六十四條ノ歳出入ガ是ノ中心ニナリマス、毎年豫算ヲ以テ帝國議會ノ協賛ヲ經ベシト云フコトハ、憲法ノ命ズル所デアリマス、然ルニ繼續費ナラバ固ヨリ認めテ居ラレマス、繼續費ハ一定年度ヲ區切りマシテ、サウシテ最初ニ於テ總豫算ヲ御提出ニナル、ソレヲ年度ニ依ツテ支出スルノデアリマスカラ、ソレハ差支ナイ、是ハ特別ニ認めテデアリマス、其ノ外ニハ何處ニモサウ云フコトハ憲法デハ認めテナイノデアリマス、ソコデ慣習——今マデ違憲ナコトヲヤツタガ、ソレガ數回其ノ儘ニナツテ居ルカラ、之ヲ慣習ニ依ツテ現在ノ憲法ト云フモノヲ、サウ解釋スルト云フ見解デアリマス、大變ナ間違ヒデアリマス、サウ云フ點ヲ私共ハ質シタイノデス、將來斯ウ云フコトハ、前ニ致シマシタコトガ假令慣習ニナツテ居リマセウトモ、一二回サウ云フコトガアツタカラト云ツテ、今日ノ憲法ヲ左右スルコトハ出來マセヌ、ソレハヤハリ飽クマデモ法律ヲ以テ憲法ヲ動カスコトノ出來ヌト同一ナル原理デアリマス、ソレデアリマスカラ、違憲ニアラズト云フコトニシテデアリマスルナラバ、憲法第何條ノ解釋ニ於テ、サウデアルト云フコトヲ御立證ニナリマセヌト、今日ノ國民ハ其ノ疑惑ヲ一掃スル由ハナイノデアリマス、私共ガ一體斯ウ云フコトヲ申上ゲマスノハドウ云フ點ニアルカ、併シ私ハ憲法論ヲ戰ハズノデアリマセヌ、豫算執行ノ上ニ於テ、實ニ戰慄スベキ結果ガ生ジテ來ルノデアリマス、今マデノ日清、日

露ノ戦争ト云フモノハ、御承知ノ通り假令違憲ニ致シマシテモ、私共ハ其ノ時ハ關知シマセヌガ、一年カ二年デ終了シ、サウシテ解決シマシタカラ、是ガ歳出入ノコトヲ審議或ハ報告、或ハ檢査致シマスノモ、大シタ困難ハ感ジナイ、併シ私ハ認めルノデアリマセヌヨ、唯事實トシテサウ云フ事ガアツタト云フコトデアリマスカラ、ソレデ申上ゲル、所ガ今回ノ事變ノ如キハ、幾年掛ルカ想像モ付キマセヌ、想像ノ付カザルモノヲ一會計年度ニスルト云ハレルコトハ、今マデ慣習トサレテ居ラレマスモノヨリモ、一層重大ナコトニナリマス、ソレガ爲ニ斯ウ云フ事ガ起ルノデアリマス、臨時軍事費ト云フモノヲ國民ノ膏血デ以テ支出シテ居リマスガ、ソレガ果シテ政府ノ豫算ヲ執行サレル時ニ、豫算通りニソレガ行ハレテ居ルカドウカト云フコトニ疑問ガ抱カレルノデアリマス、折角赤字公債ヲ發行シ、國民ニ莫大ナル増稅ヲ強イテ、其ノ豫算執行ガ好イ加減ニ行ハレタナラバ、國民ハドウ考ヘルカト云フコトニナル、ソレガ一年々々デ以テ解決ヲ爲サレズニ、若シアナタノ仰セニナルヤウニ、慣習ヲ或ル程度認めルト致シマシテモ、今後幾年掛ルカ分ラヌト云フ豫想ノ付カザルモノヲ、憲法ガ之ヲ認めルコトハ絕對ニ出來マスマイ、ドノ條章カラ行キマシテモ、其ノ結果ハドウナルカト申シマス、例ヘバ此ノ中ニハ臨時軍事費モ含シテ居ルノデアリマスガ、昭和十二年度ニ航空本部ガ、今年度中ニ是ダケノ飛行機ヲ製造ラシテ呉レ、ソレガ爲ニ資金モ要ラデアラウカラト云フノデ、四分ノ三ト云フモノヲ某會社ニ與ヘタノデアリマス、此ノ臨時軍事費ノ中ニハ

滿洲事件費モアリマス、其ノ十二年度ノ豫算ナリトシテ御取リニナツタ所ノ此ノ豫算ガ、十二年度ニドレダケ出来タカト云フト、タツタ百分ノ六モ出来ナイ、サウシテ十三年度ニ掛ツテドウカト云フト、尙ホ五〇%モ出来ナイノデアリマス、ソナラ三年目ノ十四年ニ掛ツテドウカト云フト、尙ホ四六%ト云フモノガ残ツテ居ルノデアリマス、今年四年目ニ掛ラナケレバ、十二年度ノ豫算ノ執行ガ出来タト云フナラバ、斯ウ云フヤウナコトガ臨時軍事費ノ中ニアルト致シマスナラバ、國家カラオ取リニナツタ豫算ト云フモノヲ、一體ドコデ本當ニ法的ニ御執行ガ出来ルノデアルカ、同時ニ軍事資材ニ於キマシテモ、或ハ軍器製造ニ於キマシテモ、茲ニ莫大ナル齟齬ヲ來シマス、此ノヤウナコトガ現在出来テ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、十二年度ニ消化スベキ豫算ト云フモノガ、十四年度ニ掛ツテモ尙ホ消化スルコト能ハズ、而モ其ノ金ハ渡シテアル、ソレヲ其ノ儘ニシテ、十五年度ト云フ今年度ニモ掛ラウト云フヤウニナリマスルナラバ、會計検査院及ビ今日ノ法制局、大藏省、總テノ御監督ノ上ニ於テ、法的立場カラ御考ニナリマシテモ、斯様ナ非常ナ恐ルベキ結果ガ内在シテ居ルノデス、ソレ等ヲ一體ドウシテ調整シテ行キマスカ、今日ノヤウナ一會計年度ニ認メルト云フコトヲ、憲法上絕對ニ認めザル所以ハ、斯ウ云フコトガアルカラデアリマス、アナタガ一會計年度ニスルコトガ出来ルト云フヤウニ御解釋ニナルノハ、憲法ノ何處カニ條章ノ據ルベキモノガアルニ違ヒナイト思ヒマスケレドモ、ソレヲ一ツ教ヘテ戴キタイ私共ハ六十四條ノ外ニハナイト思ツテ居ル、

ソレカラ其ノ後ノ所謂繼續事業年度ト云フモノヲ認メル外ハナイト思フ、會計法、憲法、何處ヲ見マシテモ私共發見スルコトガ出来マセヌガ、法制局ニハ何カ據ルベキ根據ガ御アリニナルニ違ヒアリマセヌカラ、ソレヲ教ヘテ戴キタイ、斯ウ思フテ居ルノデス、今私ハ實際論ヲ參考ニシテ、之ヲ一會計年度ニスルコトハ恐ルベキ結果ガ起ルト云フコトヲ申上ゲタ、一面ニ於テハ非常時局ダト云ツテ、國民ニ非常ヲ義務ト協力トヲ強要シ、サウシテ今日前途暗澹タル所ノ赤字公債ヲ發行シテ、其ノ豫算ノ執行ノ内部ハドウカト云フト、斯様ナ言フベカラザル所ノ——今申上ゲタコトハ澤山アル中ノ一例デス、ソナコトヲ一々申上ゲルコトハ時間ガアリマセヌガ、サウ云フコトデ政府及ビ内閣ト云フモノハ、ドウシテ天皇輔弼ノ重責ヲ全ウサレルノデアリマス、豫算ヲオ出しニナル時ハ、是ハ閣議ヲ經テ、上奏御裁可ヲ仰イデ議會ニオ出しニナルノデアリマス、サウシテ帝國議會ハ政府ニ對シテ、一年間ノ行政執行ニ對スル所ノ權限ヲ賦與シテ居ルノデアリマス、ソレ以上ノモノハ與ヘテ居ラナイ、一年間ニ是ダケ使フ、此ノ豫算ノ範圍デ免ニ角事ヲ爲サイト云フコトノ、一年分ノ權限ヲ帝國議會ハ與ヘテ居ルノデアリマスカラ、與ヘテ貰ツタラ、二年又三年掛ツテ使ツテモ宜イト云フヤウナコトハ、閣議ヲ經、御裁可ヲ得ラレマスル時ノ御趣意ト、根本的ニ相反スルノデアリマスカラ、私ハ最初 天皇ノ御裁可ヲ得マシタコトニ付テモ、相反スルモノト思フノデアリマス、而モ此ノ分割シタ豫算ト云フモノハアリ得ベカラザルコトデアアル、憲法上ニ於テハ豫算ハ一年限ノ

モノデアリマス、一年以上ノモノハ帝國議會ハ許シテ居リマセヌ、是ハ今日マデノ日本ノ憲法、議會、會計法、總テノ點カラ總括致シマシテ茲ニ到達スルノデアリマス、ソレヲ今唯違憲トハ思ハヌト云フダケデハ、是ハ永久ニ解決ガ付カナイノデアリマス、是ハ丁度三年間程ノ問題ニナツテ居ルノデアリマスガ、是等ハ速ニ確乎不動ノ根本ノ定義ヲ拵ヘテ置キマセヌト、數年後ニ於テモ斯様ナコトガ行ハレマシテ、豫算ノ執行上ハドウ云フ風ニ紊亂シテ來ルカ、是ハ數十億ニナリマスヨ、是ガ斯様ナ體タラクニナルト云フコトハ、滿洲事件費デモサウデアリマス、全ク支離滅裂デアアル、之ヲ會計検査院モ検査スルコト能ハズ、ソレダケノ豫算ヲ消化シテ置イテ、其ノ豫算ノ消化ノ結果ヲ帝國議會ニ報告スルコト能ハズ、サウシテ其ノ儘ニ拋棄シテアルノデアリマス、間モナク、昭和十二年ニ事變ガ始マリマシタ、其ノ十二年ノ豫算ノ執行カラ、斯様ナ驚クベキ亂脈ガ生ジテ來テ居ルノデアリマスカラ、國民ニ對シマシテモ、此ノ邊ヲ嚴肅ニシテ國民ヲシテ一人タリトモ金ノ支出ニ付テ疑ナカラシメルト云フコトガ、私ハ今日ノ政府ノ重大責任デアルト思フ、ソレニドウカ、法制局ハ政府ノ立法ノ原案ヲ御作リニナル所デアリマスカラ、内閣ニ對シテサウ云フ違法ノコトヲスルコトハ宜クナイト云フコトニ付キマシテ、何等カノ方法ガナクチャナラヌ、以上ノ諸點ニ付キマシテ、尙ホ法制局長官ノ御答辯ヲ承ツテ置キマス

ト存ジマス、無論臨時軍事費ニ付テ、私ハサウ云フコトハナイト思ツテ居リマス、ソコデ又此ノ憲法ノ話デアリマスガ、今回ノ臨時軍事費ノ特別會計法ガ憲法違反ダト云フコトハ、私ハドウシテモナイト思ヒマス、ソレハ既ニ數回此ノ種ノ立法ガアツタノミナラズ、福田サンガ今違憲ナリト御主張ニナル、其ノ論據ガ何處ニアルカトノ御説ヲ伺フト、歳入歳入ト云フ文字ガ、一年度限リノ收入支出ト云フコトニ限ツテ居ルカラ、一會計年度ハ一年度限リデナケレバナラヌ、之ニ違反スル會計年度ヲ定ムル法律ハ違憲ナリ、斯ウ云フ風ニ御話ニナツテ居ルヤウニ、此ノ速記録デハ窺フノデアリマス、併シ先程モ申上ゲマシタヤウニ、私ハ此ノ歳入歳入ト云フ文字ヲ、一箇年即チ十二箇月ノ收入支出ダト、斯ウハ解釋ヲ致サナイノデアリマス、年々入ツテ來ル收入、年々出ス支出ト云フコトノ意味ニ解釋スルノデアリマス、デアリマスカラ必ズ一箇年限リノ、詰リ十二箇月限リノ豫算デナケレバナラヌト云フ解釋ニハナラナイノデアリマス、能ク例ニ言ハレルコトデアリマスガ、今ハ四月一日カラ翌年ノ三月三十一日マデヲ會計年度トシテ居リマスガ、併シ若シ將來之ヲ假ニ曆年制、詰リ一月一日カラ其ノ年ノ十二月三十一日マデノ會計年度ニ改メルト云フヤウナ必要ガ起ツタ場合ニハ、是ハ私ハ會計法ヲ改メサヘスレバ、幾ラデモサウ云フ風ニ改メテモ宜イト思ヒマス、此ノ歳入歳入ト云フ文字カラ、ドウシテモ一箇年デナケレバナラヌト云フコトヲ主張スルナラバ、結論ニ於テ會計年度ノ變更ト云フコトハ、憲法ヲ變ヘナケレバ出来ナイト云フコトニナル、私ハ憲法ハサウ云フ意味

デハナイノデアツテ、憲法ノ歳入歳出ト云フモノハ、必ズ十二箇月ノ歳入歳出ノ意味デアル、斯ウ解釋スベキモノデナイト思ヒマス、隨テ福田サンノ御話ガ速記録ニ載ツテ居ル如ク、歳入歳入ハ必ズ十二箇月ノ收入支出デナケレバナラヌト云フ御議論デアルトシテモ、私共ハ其ノ解釋ヲ取ラヌノデアリマス、ソコニ根本ニ於テ違ツテ居ル點ガアルト思ヒマス、サウ云フヤウニ解釋致シマス、今回ノ臨時軍事費ノ如キハ、ヤハリ憲法違反デハナイト云フコトニナル譯デアリマス、以上私共法制局ノ執ツテ居ル解釋ヲ申上ゲマス

何年デモ宜イト仰セニナル、此ノ點ヲモウ一度伺ツテ置キタイ、會計年度ハ毎年デアラカラ、政府ハ毎年議會ヲ御召集ニナリ、政府ハ毎年豫算ヲ出シテ居ラレル、其ノ豫算ト云フモノハ、十五年度ノ豫算トシテ御提出ニナル、十五年度ト云フコトハ、チャント會計法ニ法定サレテ居ル、四月一日カラ始ツテ翌年ノ三月三十一日ヲ以テ終ル、歳入ハ六月末ヲ以テ締切ルガ、是ハ歳出デハナイ、收入ガ遅レテ來タモノヲ、ソコデ一ツ締切ルト云フ一會計事務ニ過ギナイ、私が只今申シマシタヤウニ、十四年度ニ豫算ヲ取ツテマダ仕事ニ致サズ、唯金ダケ先取シテ居ルモノガアル、是ハ今年ノ會計検査院ノ報告ヲ見ルト直グ分リマス、斯ウ云フコトハ幾十、幾百萬圓ニ上ツテ居ル、臨時軍事費ノ方ハ十分調査スル權能ガナイカラ其ノ儘ニナツテ居ルガ、ソレヲ調べマシタラ斯ウ云フコトガアル、其ノ金額ハ約七十万圓デアリマシテ、前借金ヲ致シマシタモノガ五十三萬圓、是ハ一會計社デアリマス、サウ云フコトハナイト信ジマスト仰セニナルガ、實際アルノデアリマス、私共ハ架空ノコトヲ想像ノコトハ申上ゲマセス、金額ナリ豫算執行上ニ於テ不法、不當、違憲ノ事實ガ實際アルノデアリマス、國民ノ膏血ヲ斯ノ如ク欺瞞シテ使フト云フコトハ、斷ジテ許スコトハ出來マセス、ソレハ政府ガ憲法ノ第何條デ斯ウダカラ違憲ニアラズト云フヤウコトナラヌニ角、唯思ヒマスダケデハ、吾々承服スルコトハ出來マセス、人間ノ智慧ト云フモノハサウ違フモノデナイカラ、ドナタガ解釋ニナツテモ、是以上ノ解釋ハ出來ナイト思フ、毎年豫算ヲ提出スベシト云フコトハ一年限リデアリマス、

ソレデアリマスカラ、十五年度ト云フモノヲ十六年度マデ延長スルコト云フコトハ、會計法デ許スベキモノデハナイ、又サウ云フ非常識ナコトヲ提案爲サル政府モアリマス、其ノ年ニ消費サルベキモノデ、三年掛ツテモ消費出來ナイ豫算ガ何十、何百萬圓ト停滯シテ居ツタラ、ドウシテ此ノ事變ヲ遂行スルコトガ出來マスカ、政府ハ色々辯明スルガ、辯明ハ絕對立チマセス、唯思ヒマスダケデハイケナイ、ドウカ根本的根據ヲ御示願ヒタイ、今會計上杜撰ナコトハナイ、豫算執行上恐ルベキ紊亂ハナイト仰セラレルガ、各省ニ互ツテ申上ゲルト、實ニ戰慄スベキモノガアルノデアリマス、是ハ事實デアリマス、一年限リノ會計年度ニ於テサヘモ、今日マデ相當ノ不當、不法、憲法違反ガ行ハレテ居ル、況ンヤ斯ウ云フ龐大ナモノヲ一年々々之ヲ爲サズシテ、幾年掛ルカ分ラヌモノヲ、閣カラ闇ニ葬ラントスルガ如キコトハ、斷ジテ國民ノ協力ヲ得ル所以ニアラズ、此ノ重大事變ヲ處理スル所以ニアラズ、斯ウ云フ暗黒ナモノヲ成ベク明カニシテ國民ノ批判ニ懇フルコトガ、今日ノ事變ヲ解決スル根本義デアルト思ヒマスカラ、一層此ノ點ハ明カニシナケレバナラス、私ノ申上ゲルヤウナコトガナイト認メル、又憲法ノ解釋上差支ナイト言ハレタルガ、ソレデハイケナイ、モウ少し根據アル御答辯ヲ願ヒタイ、私共ノ申上ゲル豫算執行上ノ不當ニ付テハ事實ニ付テ申上ゲテ居ルノデアリマスカラ、其ノ御積リデ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

マス、ソレカラ又今憲法論トシテノ御議論デ、毎年ト云フコトハ、一年ト云フコトデハナイイカト云フノデアリマスガ、毎年ハ是ハ既ニ申上ゲタヤウニ、毎年協賛ヲ經ルト云フコトデアリマシテ、一年ノ會計年度ト云フコトノ意味デハナイト解釋ヲ致スノデアリマス、其ノ他ノ點ニ付キマシテハ、既ニ私が申上ゲタ點ヲ別ニ補足スル必要ハナイト思ヒマスガ、前回ニ申上ゲタ通りデ、吾々ハ今回ノ臨時軍事費特別會計ハ違憲ナラズト、法制局トシテハ決メテ居ル譯デアリマス

○福田委員 是以上議論致シマシテモ、法制局ハ唯根據ナクシテ違憲デナイト云フコトデ、政治的ニ之ヲ處理セントスル御意向デアリマスカラ、議論ハ致シマセス、隨テ現内閣ニ於テハ憲法ノ解釋ニ於テ、本當ニ法的ニ御解釋ニナル方ガナイ、斯ウ認メル外ハナイノデアリマス、コソデ尙ホ申上ゲタイノハ、會計検査院ノ改正法ニ於テ、四月ヲ六月トスル位ノ會計検査院法ノ改革デハイカスト云フコトハ、數年前カラ私共ハ申上ゲテ居ルノデアリマス、隨テ過般モ申上ゲマシタガ、政府ガ自己ノ爲シタルコトヲ監督ヲ受ケルコトニ付テハ、出來得ル限リ之ヲ避ケントセラレル傾向ガアルコトヲ遺憾トスル、斯ウ云フコトヲ私ハ申シマシタ、實際現在ノ政府ノ爲サイマスコトヲ見ルト、唯會計検査院ノ検査官ヲ殖ヤスト云フダケデ、其ノ他ノ機構ニ付テ何等觸レルコトガナイ、其ノ他議會ニ於テ、現在ハ政府ハ出テ居リマス、被告タル政府ハ出テ居ルガ、原告タル會計検査院ハ議會ニ出テ居ナイ、之ヲ吾々ガ必要トシタ時ニハ議會ニ出席ヲ求メル、サウシテ兩者ノ意見ヲ聽イテ

○福田委員 然ラバ何ノ爲ニ毎年ノ豫算ハ帝國議會ノ協賛ヲ經ベシト云フコトガ、憲法ニ明記サレテアルカ、此ノ毎年ト云フコトハ二年ト云フコトデ解釋シテモ宜イ、ソレカラ會計年度ヲ一月カラ始ツテ十二月ニ終ツテモ宜シイ、變更シテモ宜シイ、此ノ前ノ政府カラモサウ云フ意見ガアリマシタガ、ソレデ宜シイ、一月カラ始ツテ十二月ニ終ルコトハ一年デアアル、ソレナラバ現行ノ會計法ニ於キマシテ、翌年度ニ互ツタト云フコトノ會計法規ガ何處ニアリマスカ、サウ云フヤウナ豫算外支出ガアツタ時、例ヘバ豫備金ノ支出等ニ於キマシテハ、後ニ帝國議會ノ承認ヲ得ナケレバナラス、是ハ當リ前デアリマス、今日ノ會計法ニ於テ、一年間ト云フモノヲ、四月一日カラ始マツテ三月三十一日ニ終ルト云フコトヲ以テ、一會計年度ト云フコトニ規定セラレテ居ル、是ハ憲法ノ根本ニ基イテ制定サレテ居ル、ソレカラ憲法上ノ毎年豫算ヲ以テ帝國議會ノ協賛ヲ得ベシト云フコトハ、毎年ト云フコトハ、一體アナタ方ハ

何年デモ宜イト仰セニナル、此ノ點ヲモウ一度伺ツテ置キタイ、會計年度ハ毎年デアラカラ、政府ハ毎年議會ヲ御召集ニナリ、政府ハ毎年豫算ヲ出シテ居ラレル、其ノ豫算ト云フモノハ、十五年度ノ豫算トシテ御提出ニナル、十五年度ト云フコトハ、チャント會計法ニ法定サレテ居ル、四月一日カラ始ツテ翌年ノ三月三十一日ヲ以テ終ル、歳入ハ六月末ヲ以テ締切ルガ、是ハ歳出デハナイ、收入ガ遅レテ來タモノヲ、ソコデ一ツ締切ルト云フ一會計事務ニ過ギナイ、私が只今申シマシタヤウニ、十四年度ニ豫算ヲ取ツテマダ仕事ニ致サズ、唯金ダケ先取シテ居ルモノガアル、是ハ今年ノ會計検査院ノ報告ヲ見ルト直グ分リマス、斯ウ云フコトハ幾十、幾百萬圓ニ上ツテ居ル、臨時軍事費ノ方ハ十分調査スル權能ガナイカラ其ノ儘ニナツテ居ルガ、ソレヲ調べマシタラ斯ウ云フコトガアル、其ノ金額ハ約七十万圓デアリマシテ、前借金ヲ致シマシタモノガ五十三萬圓、是ハ一會計社デアリマス、サウ云フコトハナイト信ジマスト仰セニナルガ、實際アルノデアリマス、私共ハ架空ノコトヲ想像ノコトハ申上ゲマセス、金額ナリ豫算執行上ニ於テ不法、不當、違憲ノ事實ガ實際アルノデアリマス、國民ノ膏血ヲ斯ノ如ク欺瞞シテ使フト云フコトハ、斷ジテ許スコトハ出來マセス、ソレハ政府ガ憲法ノ第何條デ斯ウダカラ違憲ニアラズト云フヤウコトナラヌニ角、唯思ヒマスダケデハ、吾々承服スルコトハ出來マセス、人間ノ智慧ト云フモノハサウ違フモノデナイカラ、ドナタガ解釋ニナツテモ、是以上ノ解釋ハ出來ナイト思フ、毎年豫算ヲ提出スベシト云フコトハ一年限リデアリマス、

ソレデアリマスカラ、十五年度ト云フモノヲ十六年度マデ延長スルコト云フコトハ、會計法デ許スベキモノデハナイ、又サウ云フ非常識ナコトヲ提案爲サル政府モアリマス、其ノ年ニ消費サルベキモノデ、三年掛ツテモ消費出來ナイ豫算ガ何十、何百萬圓ト停滯シテ居ツタラ、ドウシテ此ノ事變ヲ遂行スルコトガ出來マスカ、政府ハ色々辯明スルガ、辯明ハ絕對立チマセス、唯思ヒマスダケデハイケナイ、ドウカ根本的根據ヲ御示願ヒタイ、今會計上杜撰ナコトハナイ、豫算執行上恐ルベキ紊亂ハナイト仰セラレルガ、各省ニ互ツテ申上ゲルト、實ニ戰慄スベキモノガアルノデアリマス、是ハ事實デアリマス、一年限リノ會計年度ニ於テサヘモ、今日マデ相當ノ不當、不法、憲法違反ガ行ハレテ居ル、況ンヤ斯ウ云フ龐大ナモノヲ一年々々之ヲ爲サズシテ、幾年掛ルカ分ラヌモノヲ、閣カラ闇ニ葬ラントスルガ如キコトハ、斷ジテ國民ノ協力ヲ得ル所以ニアラズ、此ノ重大事變ヲ處理スル所以ニアラズ、斯ウ云フ暗黒ナモノヲ成ベク明カニシテ國民ノ批判ニ懇フルコトガ、今日ノ事變ヲ解決スル根本義デアルト思ヒマスカラ、一層此ノ點ハ明カニシナケレバナラス、私ノ申上ゲルヤウナコトガナイト認メル、又憲法ノ解釋上差支ナイト言ハレタルガ、ソレデハイケナイ、モウ少し根據アル御答辯ヲ願ヒタイ、私共ノ申上ゲル豫算執行上ノ不當ニ付テハ事實ニ付テ申上ゲテ居ルノデアリマスカラ、其ノ御積リデ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

マス、ソレカラ又今憲法論トシテノ御議論デ、毎年ト云フコトハ、一年ト云フコトデハナイイカト云フノデアリマスガ、毎年ハ是ハ既ニ申上ゲタヤウニ、毎年協賛ヲ經ルト云フコトデアリマシテ、一年ノ會計年度ト云フコトノ意味デハナイト解釋ヲ致スノデアリマス、其ノ他ノ點ニ付キマシテハ、既ニ私が申上ゲタ點ヲ別ニ補足スル必要ハナイト思ヒマスガ、前回ニ申上ゲタ通りデ、吾々ハ今回ノ臨時軍事費特別會計ハ違憲ナラズト、法制局トシテハ決メテ居ル譯デアリマス

○福田委員 是以上議論致シマシテモ、法制局ハ唯根據ナクシテ違憲デナイト云フコトデ、政治的ニ之ヲ處理セントスル御意向デアリマスカラ、議論ハ致シマセス、隨テ現内閣ニ於テハ憲法ノ解釋ニ於テ、本當ニ法的ニ御解釋ニナル方ガナイ、斯ウ認メル外ハナイノデアリマス、コソデ尙ホ申上ゲタイノハ、會計検査院ノ改正法ニ於テ、四月ヲ六月トスル位ノ會計検査院法ノ改革デハイカスト云フコトハ、數年前カラ私共ハ申上ゲテ居ルノデアリマス、隨テ過般モ申上ゲマシタガ、政府ガ自己ノ爲シタルコトヲ監督ヲ受ケルコトニ付テハ、出來得ル限リ之ヲ避ケントセラレル傾向ガアルコトヲ遺憾トスル、斯ウ云フコトヲ私ハ申シマシタ、實際現在ノ政府ノ爲サイマスコトヲ見ルト、唯會計検査院ノ検査官ヲ殖ヤスト云フダケデ、其ノ他ノ機構ニ付テ何等觸レルコトガナイ、其ノ他議會ニ於テ、現在ハ政府ハ出テ居リマス、被告タル政府ハ出テ居ルガ、原告タル會計検査院ハ議會ニ出テ居ナイ、之ヲ吾々ガ必要トシタ時ニハ議會ニ出席ヲ求メル、サウシテ兩者ノ意見ヲ聽イテ

可否ヲ決スルノガ至當デアル、是ハ會計法カラ申シマシテモ、憲法カラ申シマシテモ、少シモ差支ナイ、況ヤ之ヲ尙ホ擴張致シマスナラバ、人民ト雖モ證人トシテ之ヲ喚問スルコトガ出來ルマデニ擴張ニナルベキモノデアルト、斯ウ云フヤウニ私共ハ思フノデアリマス、而モ尙ホ速記録ヲ御覽下サレバ分ルデセウガ、會計検査院法ナリ、今日ノ議會制度、是等ノモノハ憲法發布當時、明治二十三年當時ヲ基準ニシテ作ラレタ機構デゴザイマス、立憲政治ニハ必ズ會計検査院ガナケレバナラス、歐羅巴各國デハ會計検査院ハ議會ノ一機關デアリ、非常ナ威力ヲ持ツタモノデアリマス、サウシテ會計検査院ノ検査官竝ニ検査院長ト云フモノハ議會ノ承認ヲ經テ、サウシテ終身官トシテ之ヲ維持サレテ居ル、斯ウ云フモノハ各國ニ少クナイ、併シ日本デハサウナリマセヌデアリマスルガ、併シナラナクテモ、一面 天皇ニ直隸サレマスルト共ニ、議會ト相俟ツテ初メテ此ノ國家ノ會計機構ト云フモノノ十分ナル行使ガ出來ルノデアリマスルカラ、議會ト會計検査院トハモウ車ノ兩輪ノ如ク離レベカラザルモノデアリマス、ソレデアリマスカラ會計検査院法ニ付テハ、初メノ制度ト云フモノハ一億足ラズノ豫算ヲ中心ニ出來タモノデアリマスカラ、サウ云フ不自然ハ世ノ進展ト共ニ御改革ニナルコトガ庶政一新デハナイカ、斯ウ私共ハ思フノデアリマス、ソレヲ尙ホ一步進シデ會計検査院法ヲ御改革ニナルナラバ、人員ヲ四人ヲ六人ニスルト云フヤウナ姑息ナコトデナクシテ、其ノ當時法制サレタ時カラ見マスルト云フト百數十倍ニナツテ居リマスカラ、現在ノ會計検査院ノ機構ヲ以テ

是ダケノモノヲ検査セヨト云フコトハ不能デアリマス、不能デアリマスル所ニ杜撰ガアリ、杜撰ノアル所ニ會計監督、検査ト云フモノノ寛大ガアル、隨テ政府ノ責任ハアルト雖モ問フコト能ハズト云フコトニナル、斯様ナコトデ、政府ハ何時モサウデアリマスガ、自分ヲ取締ルコトニ付テハ出來ルダケ總テノ機關ヲ寛大ニスル、議會デモ成ベク言ハセマイ、斯ウ云フ風デ、大臣ハ出レバ出ル程色々質問ヲ受ケルカラ成ベク出マイト云フコトデ、或ハ議會ニ對シテ有ユル壓迫干涉ヲシテ見タリスル、サウシテ國民ヲ取締ル機關ハ雨後ノ筍ノヤウニ濫發スル、政府ノ此ノ時代錯誤ノ古色蒼然タル制度ノ改革ニ付テ一體何ガ行ハレテ居ルカ、廣瀬サンハ此ノ頃法制局長官ニオナリニナツタバカリデアリマスカラ、アナタニ申上ゲルノデハゴザイマセヌガ、法制局トサレマシテ之ヲ御聽キヲ願ヒタイノデアリマス、ソレデアリマスカラ、アナタドウスウト言フ譯デハアリマセヌ、併シ長官トシテ今居ラレルノデアリマスカラ、今日ノコトハ總テ責任ヲ雙肩ニ擔ハナケレバナリマセヌ、併シ法制局ハ内閣ガ命ゼラレタコトダケヲ御立案ニナルト云フコトハ當然デアリマス、併シ法制局ハモウ少シ權威ヲ發揮サレマシテ、斯ウ云フ時代錯誤ノ、本當ノ國粹ノ根本ニ相應ハシクナイ制度ニ付キマシテハ、改革シナケレバナラスト云フ位ノ御所見ガアツテ然レベキモノデアルト私ハ思フ、ソレデアリマスカラ、會計検査院法ヲ現在ノヤウナ姑息ナ改正デハ吾々ハ満足スルコトガ出來ナイノデアアル、今日百數十倍ニナツタ所ノ國家機構、豫算——一省ダケデモ此ノ會計検査院ノ出來マシタ當時ヨリハ遙ニ大キナ豫

算ヲ行使シテ居リマス、局課ノ増設、人員ノ莫大ナル増加、隨ヒマシテ省モウント殖エテ居リマス、斯ウ云フモノヲヤハリ昔ノ制度デヤラウトシテ居ル、今日ノ議會デモ、私ガ議會革新ノ指導原理ヲ出シマシタノハソレデアリマス、議會モ眠ツテ居リマス、是ハオ互ニ責任ガアリマス、議會ノ審議ノ如キモ數十人ノ委員ヲ以テアレダケノ龐大ナ豫算ヲ調査セヨト言フ、調査セヨト言ツテモ出來ヤウ答ガナイ、此ノ點ハ議會モ惡ウゴザイマス、惡ウゴザイマスケレドモ、ヤハリ儼然タル國家機構ヲ確立シヨウト思フナラバ、天皇直屬ノ重大地位ニアリマス會計検査院ガ茲デ總テヲ忘レテ、天皇ノ大御心ヲ奉體致シマシテ、國民ノ膏血ニ成ル所ノ豫算ノ歳出入ノ検査ニ儼然トシテ當ツテ貫ハナケレバナリマセヌ、當ツテ貫ヒマスケレドモ、併シ現在ノヤウニ金モナシ人員モナシ、コンナ小サイ時代錯誤ノ機構デハ、ソレハ不能ヲ強ヒルモノデアリマス、不能ハ吾々トシテ強ヒラレマセヌカラ、會計検査院ハ與ヘラレタル權能ヲ十分發揮ノ出來ルヤウニ、何故御改革ノ御意思ガナイノカト云フコトヲ、私ハ御聽キシタイノデアリマス、法制局長官ハ或ハ私ノ質問ニ對シテ、必ズシモ内閣ヲ縛ルヤウナ法律デアルカラヤラスト云フ譯デハナイト云フ御答辯ガアルカモ知レマセヌガ、吾々ハ自己ヲ取締ルコトニ付テハ寛大ニシテ呉レ、國民ヲ取締ルコトニ付テハ何處マデモ強ク出ヨウト云フヤウナコトデハ、國民ノ政府ニ對ヒマスカラ、其ノ點ニ付キマシテ法制局長官ハ何トカ斯ウ云フ問題ヲ打開スルト云フコトニ付テノ御意見ハナイモノデアリマセ

ウカ、如何デアリマセウカ
○廣瀨政府委員 只今福田サンノ御意見、御質問ヲ伺ヒマシテ、吾々トシテ大イニ參考ニナル點ガ多イノデアリマス、唯是ハ非常ニ重大ナ事項デアリマスカラ、十分ニ研究致サナケレバナリマセヌ、併シ御趣旨ノ在ル所、即チ國家ノ會計ニ付テ十分ニ検査ヲシ、サウシテ國民ニ疑ノ觀念ヲ起サセナイヤウニスル、其ノ爲ニ出來ル限リ検査院ノ充實、竝ニ検査院ニ關スル法律ノ整備ト云フコトヲ圖ルコトニ付テハ、是ハ十分研究ヲシテ、御説ノアル所ヲ參照シテ努力致シタイト思ヒマス
○福田委員 最後ニ私ノ申上ゲマスコトハ、數年ニ亙リマシテ國家政務ノ跡ノ實際ヲ審查致シマシテ、私共ハ已ムナク斯ウ云フコトヲ申上ゲルノデアリマスルカラ、サウ云フ點ノ存スルコトハ唯一議員ノ意見デハゴザイマセヌ、毎年滿場一致ヲ以テ帝國議會ガ不當不法ナリトノ決議ヲ致シテ政府ニ反省ヲ促シテ居ルノデアリマス、其ノ點政府ニ於キマシテモ所謂國民全體ノ意ノ存スル所ヲ御付度ヲ願ヒタイ、同時ニ又サウ云フ違法ヲ致シマシタルモノノ譴責問責ノ程度ガ非常ニ薄イノデアリマス、是ガ爲ニ綱紀ハ容易ニ肅正サレナイ、サウ云フ違法ヲシタ時ニハ敢然トシテ是ガ綱紀肅正ノ途ヲ御立デニナル一ツノ方途ニ出デ貫ハナケレバナラス、ソレ等ニ必要ナル所ノ法律ハ當然御編成ニナラナケレバナラスノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ思フノデアリマス、ソレカラ會計検査院法十五條ニハ所謂検査年度ノ會計検査ノ成績ヲ奏上シテ、尙ホ是デハイカヌト思フ時ニハ、行政上、法律上、有ユル部門ノ改革ヲ行フ必要ガアルト認メタ時ニハ、

是亦意見ヲ 陛下ニ奏上スルノ權限ガ與ヘ
ラレデアリマスガ、永キニ互リマシテ會計檢
査院ハ此ノ十五條ノ適用ノナサレ方ガ薄
イ、殆ド之ヲ御活用ニナルコトガナイノデ
ハナイカ、此ノ點ハ私共ハ議會トシテ非常
ニ遺憾ニ思フ、若シ會計検査院ガ自己ノ立
場ヨリシテ敢然トシテ十五條ヲ適用シテ下
サルナラバ、今日ノヤウナ此ノ矛盾撞著ハ現
在マデ残ツテ居ラナイ、此ノ點ヲ私共ハ申
上ゲタイノデアリマスガ、併シドウモ會計
検査院ニ對スル政府ノ總テガ、何ダカ今日
ハ餘程妙ナ關係ニナツテ、政府ノ威壓ヲ多
少受ケルヤウナ感ジテ會計検査院ハ持ツテ
居ルノデハナイカ、又以心傳心ニ其ノ方面
ニ對シテハ、ドウカ或ル程度ニシテ呉レト
云フ政府ノ威力ガソコヘ波及シテ居ルノデ
ハナイカ、斯ウ思フノデアリマス、現在法
制局ニ於キマシテハサウ云フ點ハ會計検査
院ト内閣トノ間、或ハ各省ノ行政執行ノ上
ニ於キマシテ、何カサウ云フヤウナ點ガア
ルヤニ國民ハ疑フノデアリマスガ、法制局
ノ御感ジハドウ云フヤウニ御考ニナツテ居
リマスカ、又十五條ノ適用ニ付キマシテ會
計検査院ガ何故之ヲ不問ニ付シテ居ルノデ
アラウカ、活用シナイノデアアラウカ、斯ウ
云フコトニ付キマシテハ法制局ト致サレマ
シテハ、ドウ云フヤウニ御考ニナツテ居リ
マスカ御伺シタイト思ヒマス

○廣瀨政府委員 會計検査院ト政府トノ關
係ニ付テノ御質問デアリマスガ、私共ノ見
ル所デハ會計検査院ニ對シテ政府ガ不當ノ
抑壓ヲ加ヘルト云フヤウナコトハナイト云
フコトヲ固ク信ジテ居リマス、會計検査院
モ亦サウ云フ抑壓ニ屈スルヤウナコトノナ
イモノデアル、天皇ニ直屬シテ、政府ニ

對シテ獨立ノ力ヲ持ツテ居ル機關デアリマ
スカラ、サウ云フコトハナイト云フコトヲ
信ジテ居リマス

○福田委員 私人會計検査法ニ關シマスル
質問ハ、其ノ違憲的根據ニ付キマシテモ十
分ナ御答辯ガアリマセス、隨ヒマシテ現政
府ノ下ニ於テハ、斯ウ云フ違憲ハ飽クマデ
強行サレヤウト云フコトノヤウニ御察シヲ
申上ゲマス、左様ナコトハ斷ジテ國家機構
ノ健全ナル確立ハ出來ナイト云フコトヲ申
上ゲテ置キマシテ、是以上質問申上ゲテモ
無用ダト思ヒマスルカラ、此ノ程度ニ於テ
私ハ一時質問ヲ打切ツテ置キマス

○古屋委員長 大分時間モ過ギマシタカ
ラ、本日ハ是ニテ散會致シマス、次會ハ公
報デ御知ラセシマス

午後零時三十分散會

昭和十五年三月十二日印刷

昭和十五年三月十三日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局